

島根県PTA連合会研修大会江津大会に参加して

8月4日、江津市において第63回島根県PTA連合会研修大会江津大会が開催されました。

大会のオープニングは、地元の嘉久志神楽子ども会の皆さんが、石見神楽「恵比寿」で賑やかに盛り上げていただきました。

実践発表では、江津市の郷田小学校PTAと津宮小学校PTAの皆さんから、PTA活動に苦勞しながらもお祭りや読み聞かせを子どもたちと一緒に楽しく取り組んでおられる事例を紹介していただきました。

次に、オリンピック金メダリストの柔道家古賀稔彦さんにご講演いただきました。人は皆誰もが何か天から与えられた才能を持つ「天才」で、その才能を見つけ、夢を持って挑戦することが大事、など示唆に富んだお話を、ご自身が柔道塾で子どもたちとふれあい、指導している経験を交えながら、ユーモアたっぷりにお話していただきました。会場の参加者とのやりとりも楽しく、偉業を達成された有名人でありながら、大変身近に感じられ、アドバイスのひとつひとつが自分のこととして考えることができました。私たちがこれから子どもたちとどう向き合っていけば良いか、大変参考になる講演でした。

最後に、来年の松江大会を松江市P連の皆さんでPRしました。ぜひ参加者の皆さんに良かったと思っていただけるような研修大会にしたいと思いますので、皆さんいっしょに盛り上げていきましょう。

副会長 勝部 恵治

県大会に参加して

副会長 寺津 豪佐

8月4日に江津市で行われた島根県 PTA 連合会の総会・研修大会に、松江市 PTA 連合会からもバス2台で参加しました。

実践発表では、朝の読み聞かせボランティア。年数が経つ内に保護者の負担感が増し、成り手が減っていき、誰もが嫌がる PTA のお世話係。盛り上がって創めた一年目の記憶が無くなった頃にどこでも起こりそうな話です。事業見直しのためにアンケートを取ったら、なんと「子供達は楽しみにしている」という結果が出ました。

そこから始まった再生と誘われるお父さんの物語でした。読み聞かせを実施している学校もあると思いますが、年に一回ぐらい娘の教室にサプライズ読み聞かせも面白いと思いますよ。

研修会の講演は、柔道金メダリストの古賀稔彦さん。現在は道場主として、アスリートの育成だけでなく、子供の習い事の経営者としても活躍されています。誰にも応用できる心に残った一言。自分の子供に怒りそうになったら「親の DNA のせい」ほめたいときは「この子が自分で頑張った結果」。子供に対するとき、一呼吸おいてこの言葉を唱えたいものです。

さて、来年は松江市での開催です。講師はテニスプレイヤーの沢松奈生子さん。せっかくの地元開催。ファンだから大会参加も問題なし。もしかするとサイン色紙がもらえるかも。たくさんの方の参加で客席から大会を盛り上げていきましょうね。